



ICCAE 第15回オープンフォーラム / 第3回 JICA-JISNAS フォーラム

開発途上国における
農業生産・流通・消費 を結ぶ国際協力を目指して
—“売れる農産物”の生産に向けた研究・協力のあり方—

参加費無料

＜プログラム＞

輸入農産物のバリューチェーンの構築について

渡辺 能敬：イオン商品調達株式会社取締役

「空飛ぶ魚たち」

～途上国における水産物バリューチェーン開発の課題と展望～

杉山 俊士：国際協力機構（JICA）国際協力専門員

ベトナムにおけるイネ育種現場との協働：

大学による研究協力の現状と課題

吉村 淳：九州大学大学院農学研究院教授

総合討論（モデレータ）板垣 啓四郎：東京農業大学国際食料情報学部 教授

＜参加申込方法＞

参加申込書、または以下の必要事項を明記の上、当センターまで
e-Mail または FAX でお申込みください。

氏名（フリガナ）・所属名・連絡先（電話番号・e-Mail）・交流会参加可否

＜申込・照会先＞

〒464-8601：名古屋市千種区不老町

農学国際教育協力研究センター（担当：伊藤 / 服部）

Tel: 052-788-6166 (JISNAS 事務局)、052-789-4225 (ICCAE 代表) Fax: 052-789-4222

e-Mail : jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp

2015年3月16日（月）

13:00-16:30 (受付 12:30 - 13:00)

アットビジネスセンター

東京駅八重洲通り 501号室

（東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通りハタビル 5階）



アクセス：

JR 東京駅（八重洲口）より徒歩約 10 分
日比谷線 八丁堀駅より徒歩 2 分

プログラム等最新情報はこちらをご覧ください。

<http://iccae.agr.nagoya-u.ac.jp/jpn/events/forum/201415of.html>

名古屋大学農学国際教育協力研究センター第15回オープンフォーラム／
第3回JICA-JISNASフォーラム
開発途上国における農業生産・流通・消費を結ぶ国際協力を目指して
—“売れる農産物”の生産に向けた研究・協力のあり方—

開発途上国における農業支援では、農産物の増産や高品質化等に向けた多くの研究・技術指導が行われてきました。しかし、販売に結びつかない農産物の生産は、農家の所得向上に至らないことから、研究・開発や技術指導の段階から市場を意識することが求められています。開発途上国の中でも、消費者の食のニーズが多様化しつつある国々では、生産者が市場ニーズの変化に対応する必要に迫られており、これまでの研究・技術協力の枠を超え、民間セクターの資金や技術を活用した国際協力へのニーズが高まっています。

本フォーラムでは、農産物の生産から消費までの流れの中で、研究・開発に携わる研究者、生産・普及に携わるJICA及び開発コンサルタント、そして流通・消費に携わる民間セクターのそれぞれから、現場の状況や課題について話題提供を受け、市場を視野に入れた研究・協力のあり方について議論し、課題の抽出を目指します。

プログラム

—開会—

- 13:00-13:05 挨拶と趣旨説明
名古屋大学農学国際教育協力研究センター長 山内 章
13:05-13:10 挨拶
国際協力機構（JICA）上級審議役 榎本 雅仁
13:10-13:15 挨拶
文部科学省大臣官房国際課政策情報分析官 佐藤 兆昭

—講演—

- 13:15-13:45 講演者：イオン商品調達株式会社取締役 渡辺 能敬
演題：輸入農産物のバリューチェーンの構築について
13:50-14:20 講演者：国際協力機構（JICA）国際協力専門員 杉山 俊士
演題：「空飛ぶ魚たち」
～途上国における水産物バリューチェーン開発の課題と展望～
14:25-14:55 講演者：九州大学大学院農学研究院教授 吉村 淳
演題：ベトナムにおけるイネ育種現場との協働：大学による研究協力
の現状と課題

- 15:00-15:30 休憩・質問票回収

—討論—

- 15:30-16:30 総合討論
(モデレータ) 東京農業大学国際食料情報学部教授 板垣 啓四郎
16:30-16:40 挨拶
農学知的支援ネットワーク（JISNAS）運営委員長／
京都大学学術研究支援室・室長 田中 耕司
17:00-19:00 交流会（会費制）